2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社シノプス　　上場取引所　東
コード番号　　4428　　ＵＲＬ　https://www.sinops.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長ＣＯＯ　　（氏名）岡本　数彦
問合せ先責任者　（役職名）取締役ＣＦＯ　管理部管掌　（氏名）久保　祐　　ＴＥＬ　06（6836）5780

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	1,517	3.3	143	△31.0	166	△20.5	106	△16.4
2025年12月期第３四半期	1,468	15.2	207	223.0	209	226.8	127	204.5

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	17.20	17.20
2025年12月期第３四半期	20.52	20.51

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	2,318	1,868	80.6
2025年12月期	2,438	1,898	77.9

（参考）自己資本　　2026年12月期第３四半期　　1,868百万円　　2025年12月期　　1,898百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	8.00	－	8.00	16.00
2026年12月期	－	8.00	－		
2026年12月期（予想）				9.00	17.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,344	14.9	390	26.1	392	25.7	272	25.3	43.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	6,260,000株	2025年12月期	6,259,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	70,388株	2025年12月期	13,105株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	6,217,516株	2025年12月期３Ｑ	6,236,538株

※　添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況…… 2
（２）当四半期の財政状態の概況…… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 6
（セグメント情報等の注記） …… 6
（重要な後発事象） …… 6

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

a．経営環境

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、一部で実質賃金に改善の兆しが見られるものの、継続する物価上昇や不安定な為替相場、中東情勢等の地政学リスクなどにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。当社の主要顧客である小売業においては、労働需給のひっ迫や賃上げ圧力の高まりなどによる人件費関連コストの増加や、業種業態を超えた顧客の獲得競争に加え、益々多様化する消費者ニーズへの対応が求められており、業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増しております。さらに、物流業界における労働環境見直しに伴う輸送リソースの逼迫が常態化し、食品流通の持続性確保に向けた構造改革が急務となるなか、持続可能な開発目標（SDGs）の採択に基づいた食品ロス削減運動も引き続き社会課題として認識されております。また、AI等のテクノロジー活用による業務の自律化が市場の新たな成長要因となる中、当社のサービスは人の運用・判断に密接に関わる領域であり生成AIに代替される可能性は低いと捉えるとともに、当社サービスや業務へのAI利活用を通じた生産性向上を推進しております。そのため、当社の主力である需要予測・自動発注サービスに対するニーズは引き続き高く、さらに小売業単体の枠を超えたサプライチェーン全体の最適化や、人的資源を最大化するための抜本的な業務効率化に向けたIT投資についても継続して増加していくものと見込まれます。

このような環境の中、当社の導入実績は、2026年９月30日時点でARR（注１）は1,626,578千円（前年同期比7.5%増）、食品スーパーシェア率は37.2%（同0.2pt増）、小売業全体でのシェア率は19.1%（同0.1pt増）（注２）、契約企業数は119社（同０社増）、クラウドサービスの有償店舗数4,147店舗（同883店舗増）（注３）、クラウドサービスの有償アカウント数は16,593アカウント（同3,172アカウント増）（注４）に増加しております。当第３四半期累計期間における売上高は1,517,345千円（同3.3%増）、営業利益は143,156千円（同31.0%減）、経常利益は166,573千円（同20.5%減）、四半期純利益は106,960千円（同16.4%減）となりました。

また、前事業年度に引き続き、需要予測分野に加え、中長期の新しい収益の柱とするべく事業領域を拡大する施策も進めております。食品ディマンドチェーンマネジメント構築については、伊藤忠商事社と共同で提供している「DeCM-PF（ディーシーエムプラットフォーム）」の収益拡大を図るとともに、経済産業省の補助事業である「持続可能な物流を支える物流効率化実証事業」をはじめ、最終的にメーカー物流最適化を行うための段階的な機能拡大も進めております。小売業の人時生産性改善・向上を目的とした人的資源最大化AIサービス「sinops-WLMS（シノプス ダブリュエルエムエス）」シリーズについては、一部先行ユーザーで効果の検証を進めており、今後さらに既存・新規ユーザーへの提案を進め、収益化への取組みを着実に拡大してまいります。

（注１）Annual Recurring Revenueの略語。2026年９月末時点のMRR（Monthly Recurring Revenue）を12倍にして算出。MRRは対象月の月末時点における有償契約ユーザー企業に係る月額料金の合計額（一時収益は含まない）。
（注２）シェア率は、sinops契約企業の年商÷ターゲット企業の年商で算出。食品スーパーシェアのターゲット企業は、売上400億円以上の食品スーパー。小売シェアのターゲット企業は、コンビニ・百貨店を除く売上400億円以上の小売業（連結子会社は子会社の本社地域で集計）
（注３）有償契約でクラウドサービスを利用している店舗数（旧レンタルサービス、有償の短期間クラウド契約を除く）。
（注４）有償契約しているクラウドサービス利用数（旧レンタルサービス、有償の短期間クラウド契約を除く）。

b．経営成績の分析

（単位:千円）

	2025年12月期 第３四半期累計期間	2026年12月期 第３四半期累計期間	増減額	増減率
売上高	1,468,608	1,517,345	48,737	3.3%
パッケージ	108,758	36,699	△72,059	△66.3%
導入支援	259,149	206,446	△52,703	△20.3%
サポート	289,031	308,236	19,204	6.6%
クラウド	811,669	965,964	154,294	19.0%
売上原価	827,504	926,993	99,489	12.0%
売上総利益	641,104	590,352	△50,751	△7.9%
販売費及び一般管理費	433,724	447,195	13,471	3.1%
営業利益	207,379	143,156	△64,223	△31.0%
経常利益	209,488	166,573	△42,914	△20.5%
四半期純利益	127,983	106,960	△21,023	△16.4%

①売上高

クラウド売上高は、既存ユーザーへのアップセルやクロスセルが引き続き堅調に推移したことなどにより、965,964千円（前年同期比154,294千円増・19.0%増）となりました。サポート売上高についても、既存顧客の店舗追加が進んだことや顧客の企業統合等に伴うサポート作業売上が増加したことなどにより、308,236千円（同19,204千円増・6.6%増）となりました。一方、導入支援売上高につきましては、顧客のシステム投資計画見直し等に伴う一部案件の獲得見送り等により、206,446千円（同52,703千円減・20.3%減）にとどまりました。パッケージ売上高につきましては、当社によるクラウドサービスの推進を背景として、前年同期との比較では36,699千円（同72,059千円減・66.3%減）となっておりますが、通期計画に対しましては概ね想定通りの推移となります。この結果、ストック売上高の成長が導入支援・パッケージ売上の減少を吸収し、当第３四半期累計期間における売上高は1,517,345千円（同48,737千円増・3.3%増）となりました。

②売上総利益

当第３四半期累計期間は、事業拡大に向けた協力会社の活用による開発促進のための外注費の増加に加え、クラウドサービスの利用ユーザー増加や円安影響に伴うAWS費用等の通信費の増加があり、製品改善等による吸収を進めたものの、これらが主要因となり、売上原価が前年同期比99,489千円増加（同12.0%増）になりました。その結果、売上総利益が590,352千円（同50,751千円減・7.9%減）となりました。

③営業利益・経常利益

当第３四半期累計期間は、協力会社を活用した業務改善のための一過性の外注費が増加したことが主要因となり、販売費及び一般管理費が前年同期比13,471千円増加（同3.1%増）となりました。その結果、営業利益が143,156千円（同64,223千円減・31.0%減）、経常利益は166,573千円（同42,914千円減・20.5%減）となりました。

④四半期純利益

当第３四半期累計期間における四半期純利益は106,960千円（前年同期比21,023千円減・16.4%減）となりました。

なお、当社は「sinops事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

（２）当四半期の財政状態の概況

①資産

当第３四半期会計期間末における総資産は2,318,770千円（前事業年度末比119,295千円の減少）となりました。主な要因は、電子記録債権が17,642千円、仕掛品が5,933千円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が35,554千円、売掛金が92,749千円、ソフトウエアが82,110千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

②負債

負債は450,327千円（前事業年度末比89,384千円の減少）となりました。主な要因は、契約負債が80,686千円、賞与引当金が69,657千円増加した一方で、未払法人税等が105,891千円、流動負債のその他に含まれる未払金が84,273千円、未払消費税等が31,049千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

③純資産

純資産は1,868,442千円（前事業年度末比29,910千円の減少）となりました。主な要因は、利益剰余金が6,485千円増加した一方で、自己株式の取得により株主資本が36,969千円減少したことによるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期通期の業績予想につきましては、2026年２月12日の「2025年12月期決算短信」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

また、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想値と異なる可能性があります。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （2025年12月31日）	当第３四半期会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,300,070	1,264,516
電子記録債権	－	17,642
売掛金	306,695	213,945
有価証券	99,370	99,760
仕掛品	26,112	32,046
その他	146,044	131,145
流動資産合計	1,878,293	1,759,055
固定資産		
有形固定資産	39,017	34,956
無形固定資産		
ソフトウエア	338,315	256,204
その他	416	84,947
無形固定資産合計	338,731	341,152
投資その他の資産	182,023	183,606
固定資産合計	559,772	559,714
資産合計	2,438,065	2,318,770
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,157	11,062
契約負債	196,507	277,193
未払法人税等	105,891	－
賞与引当金	－	69,657
製品保証引当金	5,282	4,196
受注損失引当金	1,249	348
その他	204,627	82,628
流動負債合計	534,714	445,087
固定負債		
退職給付引当金	4,996	5,239
固定負債合計	4,996	5,239
負債合計	539,711	450,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	429,180	429,325
資本剰余金	389,610	389,755
利益剰余金	1,091,797	1,098,282
自己株式	△11,820	△48,789
株主資本合計	1,898,768	1,868,574
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△668	△221
評価・換算差額等合計	△668	△221
新株予約権	254	89
純資産合計	1,898,353	1,868,442
負債純資産合計	2,438,065	2,318,770

（２）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	1,468,608	1,517,345
売上原価	827,504	926,993
売上総利益	641,104	590,352
販売費及び一般管理費	433,724	447,195
営業利益	207,379	143,156
営業外収益		
受取利息	1,733	2,693
受取手数料	1,196	364
保険解約返戻金	－	8,205
補助金収入	－	10,456
その他	455	2,999
営業外収益合計	3,385	24,719
営業外費用		
譲渡制限付株式報酬償却損	782	764
その他	494	537
営業外費用合計	1,276	1,302
経常利益	209,488	166,573
特別利益		
新株予約権戻入益	－	75
特別利益合計	－	75
特別損失		
和解金	－	12,000
特別損失合計	－	12,000
税引前四半期純利益	209,488	154,648
法人税、住民税及び事業税	83,791	46,475
法人税等調整額	△2,287	1,212
法人税等合計	81,504	47,688
四半期純利益	127,983	106,960

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	94,503千円	96,343千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社は「sinops事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。